2022 年 3 月 4 日

横浜ゴム、2022 年モータースポーツ活動計画

横浜ゴム（株）は 2022 年のモータースポーツ活動計画を発表しました。当社は中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のタイヤ消費財戦略において、高付加価値商品の主力であるグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」、「ウィンタータイヤ」の販売構成比率最大化を掲げています。その中で、モータースポーツ活動を技術開発および「ADVAN」「GEOLANDAR」ブランド強化の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦します。また、サステナブルな社会実現に向けた活動の一環として、再生可能原料やリサイクル原料を用いたタイヤの開発を極限のテストの場であるレースにおいてスタートします。

イベントレポートやリザルトは横浜ゴムのモータースポーツサイトやモータースポーツ専用の公式 SNS でも情報を発信します。主な活動計画は以下の通りです。

GT・ツーリングカーレース

■SUPER GT

「SUPER GT」はメーカーのワークス勢が主力となる GT500 と個性的なチームが競い合う GT300 の 2 つのクラスで争われます。GT500 は独自の規則に則った車両が参戦。一方、GT300 は自動車メーカーが製造販売する国際規格の FIA GT3 マシンと日本独自の JAF-GT 車両ならびにマザーシャシーが混在し、国内外のバラエティ豊かな車種が競い合います。GT500 では 2021 年に全 8 戦中、3 回の表彰台を獲得。2022 年も 2 チームと優勝を目指します。GT300 では 15 台をサポートし 2 年ぶりのシリーズチャンピオン奪還を目指します。

「SUPER GT(GT500)」TGR TEAM WedsSport BANDOH の「WedsSport ADVAN GR Supra」

「SUPER GT(GT500)」KONDO RACING の「リアライズコーポレーション ADVAN Z」

（GT500 クラス）

チーム	ドライバー	車名
TGR TEAM WedsSport BANDOH	国本 雄資 阪口 晴南	WedsSport ADVAN GR Supra
KONDO RACING	佐々木 大樹 平手 晃平	リアライズコーポレーション ADVAN Z

横浜ゴム株式会社
THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD.
〒105-8685 東京都港区新橋 5 丁目 36 番 11 号
36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan

（GT300 クラス）

チーム	ドライバー	車名
GOODSMILE RACING & TeamUKYO	谷口 信輝 片岡 龍也	グッドスマイル 初音ミク AMG
TEAM MACH	TBN※	TBN※
MOTOYAMA Racing w/ Team LeMans	本山 哲 片山 義章	Team LeMans Audi R8 LMS
PACIFIC CARGUY Racing	木村 武史 ケイ・コッツォリーノ	PACIFIC Hololive NAC Ferrari
TEAM UPGARAGE	小林 崇志 太田 格之進	UPGARAGE NSX GT3
R'Qs MOTOR SPORTS	和田 久 城内 政樹	アールキューズ AMG GT3
HOPPY team TSUCHIYA	松井 孝允 野中 誠太	HOPPY GR Supra GT
apr	永井 宏明 織戸 学	apr GR86 GT
NILZZ Racing	井田 太陽 TBN※	TBN※
Arnage Racing	加納 政樹 阪口 良平	Arnage MC86
KONDO RACING	藤波 清斗 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R
JLOC	松浦 孝亮 坂口 夏月	TBN※
JLOC	小暮 卓史 元嶋 佑弥	TBN※
Max Racing	佐藤 公哉 三宅 淳詞	HACHI-ICHI GR Supra GT
TOMEI SPORTS	青木 孝行 田中 篤	RUNUP RIVAUX GT-R

※3/4 時点で未定

■ニュルブルクリンク 24 時間耐久レース

「第 50 回ニュルブルクリンク 24 時間耐久レース（ADAC TOTAL 24h-Rennen）」と「ニュルブルクリンク耐久シリーズ（NLS）」に 2021 年からパートナーシップ契約を締結している BMW カスタマーチーム「Walkenhorst Motorsport」の「BMW M4 GT3」3 台で参戦します。同チームは 2021 年の NLS 第 6 戦「第 44 回 RCM DMV Grenzlandrennen」で総合優勝しており、今年も ADVAN レーシングタイヤの「ADVAN A005」（ドライ用）と「ADVAN A006」（ウェット用）を供給します。

テスト中の Walkenhorst Motorsport「BMW M4 GT3」

■TCR リージョナル選手権

世界各国で行われる TCR リージョナル選手権のうち「TCR Scandinavia」などに「ADVAN A005」（ドライ用）と「ADVAN A006」（ウェット用）を供給します。

■その他の GT・ツーリングカーレース

2021 年よりワンメイク供給を開始した北米の「Porsche Sprint Challenge North America by Yokohama」および「Yokohama Drivers Cup USA」、日本で行われる「インタープロトシリーズ」に ADVAN レーシングタイヤを継続供給します。

「Porsche Sprint Challenge North America by Yokohama」に参戦する「Porsche 911 GT3 Cup」

フォーミュラレース

■全日本スーパーフォーミュラ選手権

2016 年からワンメイク供給を開始した「全日本スーパーフォーミュラ選手権」では 2022 年も「ADVAN A005」（ドライ用）と「ADVAN A006」（ウェット用）を継続供給します。なお、同選手権には 2023 年から天然由来の配合剤やリサイクル原料などのサステナブル素材を活用したレーシングタイヤを供給する予定で、本年から年間 7 回のスーパーフォーミュラの各大会前後に行われるテストでタイヤの開発を開始します。

「全日本スーパーフォーミュラ選手権」（2021 年）

■全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権

シリーズチャンピオンを獲得したドライバーには、シーズン終了後に行われるスーパーフォーミュラのルーキーテストへの参加権が与えられます。トップドライバーへの登竜門である同選手権に、当社は昨年に続いて「ADVAN A005」（ドライ用）と「ADVAN A006」（ウェット用）を供給します。

「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権」（2021 年）

ラリー

■全日本ラリー選手権

ターマック（舗装路）向け「ADVAN A08B」および「ADVAN A052」、グラベル（未舗装路）向け「ADVAN A053」の高性能を武器に、多くのクラスでチャンピオン獲得を目指します。

奴田原文雄選手／東駿吾選手の
「ADVAN KTMS GR ヤリス」（2021 年）

新井敏弘選手／田中直哉選手の
「富士スバル AMS WRX STI」（2021 年）

（JN-1 クラス）

ドライバー コ・ドライバー	チーム名	車名
奴田原 文雄 東 駿吾	NUTAHARA Rally Team	ADVAN カヤバ KTMS GR ヤリス
新井 敏弘 田中 直哉	SUBARU TEAM ARAI	富士スバル AMS WRX STI

■その他のラリーおよびラリークロス競技

米国の「ARA Rally (American Rally Assosiation)」に参戦する「Subaru Rally Team USA」に「ADVAN A053※」を供給します。また、2021 年から北米でスタートし、今年から欧州と中東でも開催される「NRX (Nitro Rallycross)」では、これまでの内燃機関車両に加え、新たに追加される EV カテゴリーに参戦する 10 台の EV 車両向けにも「ADVAN」タイヤを供給します。 ※開発品

「ARA Rally」に参戦する Subaru Rally Team USA、
Travis Pastrana 選手

NRX (Nitro Rallycross)

スピード競技

■全日本ジムカーナ選手権

「ADVAN A08B」「ADVAN A052」「ADVAN A050」の高性能を武器に、多くのクラスでチャンピオン獲得を目指します。

斉藤邦夫選手の「ADVAN08B ロードスター」

■全日本ダートトライアル選手権

「ADVAN A053」をはじめ、軟質路面用「ADVAN A031」や超硬質路面用「ADVAN A036」など幅広い路面に対応したタイヤラインアップを武器に、多くのクラスでチャンピオンの獲得を目指します。

谷田川敏幸選手の「トラスト ADVAN クスコ BRZ」

ヨコハマ・モータースポーツ・スカラシップ

横浜ゴムはモータースポーツ振興促進活動の一環として国内のラリー、ジムカーナ、ダートトライアル競技参加者を支援する「ヨコハマ・モータースポーツ・スカラシップ 2022」を実施しています。受付期間は 2022 年 4 月 30 日 （当日消印有効）まで。同制度は登録したヨコハマタイヤユーザーを支援する制度です。対象競技などスカラシップの詳しい内容は専用サイトに掲載しています。

ヨコハマ・モータースポーツ・スカラシップ 2022 専用サイト：https://www.y-yokohama.com/cp/motorsports/scholarship/

参加型モータースポーツ

「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ」や「N-ONE OWNER'S CUP」、各地のサーキットにて開催されるレースにタイヤを供給します。

オフロードレース

SUV・ピックアップトラック向けタイヤブランド「GEOLANDAR」を擁し、北米の「The Mint400」やオセアニアでのデザートレース、アジアクロスカントリーラリーなどのオフロードレースに参戦します。2021 年は「GEOLANDAR」装着車が数々のレースで輝かしい戦績を残しており、米国の「2021 King Shocks Area BFE Beatdown」の4800クラスでワンツーフィニッシュ、メキシコの「第34回 SCORE SAN FELIPE 250」の Pro UTV NA クラスで優勝、北米の「Best In The Desert 2021」シリーズの一戦である「2021 King Shocks Laughlin Desert Classic」の「Trick Truck」クラスで優勝を果たしました。

「2021 King Shocks Laughlin Desert Classic」で優勝した Justin Lofton 選手の参戦車両（2021 年）

その他レース

■ヒルクライム

第 100 回を迎える米国のヒルクライムレース「Pikes Peak International Hill Climb」に今年も参戦します。今年はエキシビションクラスに参戦する EV 車両にバイオマス（生物資源）由来のブタジエンゴムを使用した「ADVAN」タイヤを供給するほか、その他のクラスでも多くの車両をサポートします。また、「Porsche Cayman GT4 Clubsport」により競われる「Porsche Pikes Peak Trophy by Yokohama」へのワンメイク供給を継続します。2021 年はオープンクラスとエキシビションクラスの 2 部門でクラス優勝を果たしており、2022 年は総合優勝奪還を目指します。

パイクスピークオープンクラスで優勝した Raphael Astier 選手の
「2015 Porsche BBI Turbo Cup」（2021 年）

エキシビションクラスで優勝した Randy Pobst 選手の
「2021 Tesla Model S Plaid」（2021 年）

■カートレース

国内カートレースの頂点に位置する「全日本カート選手権」の最高峰クラスである OK 部門に参戦し、ヨコハマタイヤユーザーのチームやドライバーとともに勝利を目指します。また、「ジュニアカート選手権」では 2021 年に引き続き FP-ジュニア Cadets 部門に「ADVAN」タイヤをワンメイク供給するほか、海外でも「アジア・カーティング・オープン選手権」へのワンメイク供給を継続します。

全日本カート選手権 OK 部門に参戦した
Drago Corse の渡会太一選手（2021 年）

【横浜ゴムモータースポーツサイト】
https://www.y-yokohama.com/cp/motorsports/

【公式 SNS】
Facebook：https://www.facebook.com/YRCmotorsports/
Twitter：https://twitter.com/yokohama_sport
Instagram：https://www.instagram.com/yokohama_motorsports/

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部　広報室　担当：池田
TEL：03-5400-4531　FAX：03-5400-4570